



平成26年12月16日

川西町教育委員会

委員長 佐藤 富士雄 様

あすの川西町の小学校を考える協議会

会長 廣居 安子

### 川西町の小学校区の見直しについて（答申）

平成25年5月27日付け教総発第128号で諮問のあった川西町の小学校区の見直しについて、本協議会での議論を踏まえ、別添報告書のとおり答申します。

本町の小学校の通学区域の見直しにあたっては、協議の過程で行ってきた保護者懇談会や地区懇談会等でいただいた意見、要望等を踏まえ、児童の登下校の安全確保や、学力・体力向上への対応等、子どもたちの教育上の利益を最優先としながら、保護者や地域住民の方々の合意形成を得て、本町のより望ましい教育環境（適正規模）の実現が推進されるよう期待します。

# 川西町の小学校区の 見直しに関する検討報告書

平成26年12月

あすの川西町の小学校を考える協議会

## ～ 目 次 ～

- 1 はじめに
- 2 協議にあたっての基本方針
- 3 「川西町の小学校区の見直しについて」の検討経過
- 4 小学校学区再編に関する町民意見の集約
- 5 学区再編の基本的な考え方
- 6 小学校学区再編検討の基準とルール
- 7 検討方法と合意形成のあり方
- 8 おわりに

### 【参考資料】

- ①諮問書「川西町の小学校区の見直しについて」
- ②あすの川西町の小学校を考える協議会設置要綱
- ③小学校児童数・学級数推移表
- ④児童数減少による学級編成の変化と教育環境ステージ
- ⑤町報「かわにし」掲載内容
  - ・平成25年 6月15日号
  - ・平成25年 9月15日号
  - ・平成26年 2月15日号
  - ・平成26年 6月15日号
  - ・平成26年 8月15日号
  - ・平成26年12月15日号

## 1 はじめに

あすの川西町の小学校を考える協議会は、平成25年5月27日に川西町教育委員会から諮問を受けた、「川西町の小学校区の見直し」に関して、保護者や地域住民との懇談会で寄せられた意見等の検討も含め7回にわたり協議を重ねてきた。

教育委員会では平成18年2月に、今後の少子化による児童生徒数の減少によって、学校規模が縮小する傾向が見込まれるため、教育の機会均等と教育水準の維持向上を確保する観点から、「学校規模の適正化に向けた通学区域の見直しに関する計画書」を策定し、保護者や地域住民の方々と話し合いを持ちながら、計画の推進を図ってきた。

計画書に基づき、中学校の再編整備については実施をみたものの、町内小学校の2校配置計画に対しては、「小学校は地域のシンボルであり、なくなれば地域の荒廃につながる」「統合によって、いじめ・不登校が増えるのではないかと不安である」といった慎重な意見が多く、実施に至らなかった経過がある。

現在においても、本町の少子化傾向が顕著になっており、将来を担う子どもたちの教育効果を第一に、学校が学校として最大限の機能を発揮できる教育環境をつくり出すことが肝要であると考えます。

本協議会では、本町の歴史的背景や各地区の地域づくりに配慮しながらも、最も教育環境の整った町立小学校の適正配置を実現するため、各委員から様々な意見を取りまとめ、川西町の将来の小学校のあり方について、協議会として一定の意見の集約をみたので、ここに本協議会の検討結果を報告する。

## 2 協議にあたっての基本方針

本協議会では、諮問事項の検討・協議において次のような事項を基本として協議を進めた。

- (1) 小学校数は、平成18年2月策定の計画にある2校案<sup>(注)</sup>はそのままとするが、段階的に統廃合を進めることも視野に入れる。
- (2) 学区再編は、児童の教育環境の向上を図ることを優先する。
- (3) 小学校統廃合の基本方針及び統廃合を検討する基準のあり方と検討の開始段階(ステージ)について協議する。
- (4) 協働のまちづくりの理念に基づき、学区再編については地域・保護者の合意形成を図ることとし、その方法について協議する。

---

\*注 「学校規模の適正化に向けた通学区域の見直しに関する計画書」において、(仮称)第一小学校(大塚小・犬川小・小松小・玉庭小・東沢小)として小松小学校校舎を使用し、(仮称)第二小学校(中郡小・高山小・吉島小)として吉島小学校を使用し、町内2校に再編整備する計画。

## 3 「川西町の小学校区の見直しについて」の検討経過

### ○諮問

平成25年5月27日

教育委員会より、町内の将来における小学校学区のあり方について、学区再編を検討する際の基準等、具体的な方策の検討を諮問される。

○第1回協議会

平成25年5月27日 開催

- ・会長、副会長の選出
- ・平成18年2月策定「学校規模の適正化に向けた通学区域の見直しに関する計画書」の確認
- ・児童数の推移の確認
- ・検討作業スケジュールの確認

○第2回協議会

平成25年8月3日 開催

- ・3グループに分かれて協議、検討
  - 「学校規模によるメリット・デメリット」
  - 「学校統廃合のメリット・デメリット」
  - 「学校統廃合の合意形成」

○平成25年度小学校学区再編に関する懇談会

平成25年9月から12月

- ・幼児施設（6施設）、小学校（8施設）の保護者対象
- ・一般町民対象（7地区）
  - 「学区再編の検討経過」
  - 「児童数・学級数の推移」
  - 「学校規模によるメリット・デメリット」
  - 「学級編成の変化と教育環境ステージ」

○第3回協議会

平成26年1月25日 開催

- ・小学校学区再編に関する懇談会の内容確認
- ・小学校学区再編の方向性について協議、検討
- ・2グループに分かれて協議・検討
  - 「学区再編の基準・ルール化（検討の開始段階）について」

○第4回協議会

平成26年5月27日 開催

- ・パブリック・コメントの内容確認
- ・小学校学区再編の方向性について協議、確認
- ・2グループに分かれて協議・検討
  - 「学区再編検討の基準・ルール化について」

○第5回協議会

平成26年7月26日 開催

- ・小学校学区再編（統廃合）の方針、検討の基準とルールについて協議、確認
- ・2グループに分かれて協議・検討
  - 「学区再編における合意形成のあり方について」

○平成26年度小学校学区再編に関する懇談会

平成26年9月から11月

- ・幼児施設（6施設）、小学校（8施設）の保護者対象

- ・一般町民対象（7地区）  
「協議会の検討経過」  
「児童数・学級数の推移」  
「学級編成の変化と教育環境ステージ」  
「学区再編（統廃合の方針、検討開始の基準とルールについて）」  
「合意形成のあり方について」

○第6回協議会

平成26年11月26日 開催

- ・答申（案）の検討

○第7回協議会

平成26年12月9日 開催

- ・答申書の確認

#### 4 小学校学区再編に関する町民意見の集約

##### （1）平成25年度小学校学区再編に関する懇談会

本協議会での検討・協議を行う上で参考とするため、各幼児施設、各小学校の保護者及び一般町民の方を対象に懇談会を開催した。

○開催期間：平成25年9月から12月まで

○会 場：各幼児施設（6施設）、各小学校（8施設）  
各地区交流センター等（7施設） 計21施設

○参 加 者：保護者 211名 一般町民 100名

○懇談内容：「児童数・学級数の推移」、「学校規模によるメリット・デメリット」、「児童数減少による学級編成の変化と教育環境ステージ」等の資料により事務局から説明を行い、質疑・意見・要望等を受けた。

○懇談内容：主な懇談内容は次のとおり

##### ※保護者懇談会

##### \*全体的に見て

・将来的な統廃合の考え方について、保護者からは異論はなく、児童の推移（見込み）を見るとやむなしという意見が多かった。また、早い段階から児童の交流機会を充実し、時間をかけながら進めてほしいという意見もあった。

##### ※地区（一般町民）懇談会

##### \*全体的に見て

・将来的な統廃合の考え方について、参加者からは児童の推移（見込み）を見るとやむなしという意見が多かった。ただ、平成18年計画の2校案については異論が多く、児童の減少が少ない（大塚・吉島）地区では、現状の児童数が維持できるうちは存続してほしいとの意見があった。また、玉庭・東沢地区では地域づくりの観点から慎重意見が多かった。

平成25年度小学校学区再編に関する保護者懇談会・地区懇談会の主な意見・要望等

| 項目      | 地区懇談会の意見・要望等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 懇談会場                       | 保護者懇談会の意見・要望等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 懇談会場                                          |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 統合推進    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1桁が見えてくると、いずれやむを得ないと思う。登校が1人になると心配。統合は、前向きに考えなければならない。不安を解消しながら進めるべき。</li> <li>・ある程度の人数の中で学んでいくことも大切だと思う。</li> <li>・2校案でなく、最終的に1校とした方がよい。1校案の目標年次を定めて、それまでのプロセスを決めていくのがよい。</li> </ul>                                                                                                     | 東沢<br>小松<br>大塚             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・急いでやってほしい。</li> <li>・規模の大きな学校では複数担任で指導してもらっている。放課後も個別学習があるきめ細やかな対応となっている。2校案に賛成。複式学級も増えており、早めの対応が必要。</li> <li>・学年に1人と2人になれば心配。統合して大きな学校で友達を作ってもらい、再編を早めに進めてほしい。(複数)</li> <li>・川西中の統合を経験したが、統合するなら早いほうがよい。(複数)</li> <li>・大人数になれば何種類ものスポ少ができ交流も進む。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 小松保<br>玉庭保<br>美郷幼<br>大塚小<br>大川小<br>玉庭小<br>高山小 |
| 統合やむなし  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数の推移をみるかぎり、統廃合もやむを得ないと思う。</li> <li>・難しい問題である。100%合意は無理でも6～7割の賛成(合意形成)の中で進めるべきと考える。</li> <li>・保護者の意見を最優先し、尊重して合意形成のとれる方法を考えなければならない。子供の将来に力をおいて、きちんと議論し、地域が子供を犠牲にしてはいけない。</li> </ul>                                                                                                     | 大川<br>玉庭                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・長男が中学校統合を経験した。友達の幅が広がって良かった。部活も多くて選択肢が増えて良かった。統合は悪いことばかりではない。</li> <li>・小さな学校だと、少人数のところから大人数のところに行った時、付き合いとか人間関係が心配。</li> <li>・やるなら早くやったほうがよい。しかし、人口流出が心配で懸念される。</li> <li>・安全な通学路の確保やスクールバスの細やかな運航体制が図られることが、合意につながっていくのではないかと考える。</li> <li>・社会性なども考えると、ある程度の人数は必要と考える。統合はやむを得ない。</li> <li>・児童数の推移を見れば統合はやむを得ない。学校間の交流をたくさんやってほしい。</li> <li>・親として少しでも戸惑いを減らしたいので、あまり少人数になる前に統合したほうがいいのかとも思う。</li> <li>・地域の中での学校を考えると、運動会など地区行事は子ども達を中心にやっているのだから、地域がどうなるか心配される。</li> <li>・全校生徒が20人を切れば、運動会などさまざまな学校運営が厳しくなる。教育環境として良いのか。子どもが統合中学校に入った時、不安があったが友達が広がって良かった。小規模のよいところもあるが、教育環境を第一に考えると、統合の時期があるのではないかと。</li> </ul> | 玉庭保<br>大川小<br>東沢小<br>北斗幼                      |
| 再編具体例   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・北斗幼稚園では大川地区と大塚地区の幼児がほぼ。大塚小学校と大川小の再編というのも選択肢の一つではないか。(複数あり)</li> <li>・中郡地区には、中郡小と高山小があり、平成31年には高山小は20人を切ることで、中郡小と高山小いっしょにするのも一つの考えではないか。</li> </ul>                                                                                                                                        | 大川<br>中郡                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4校は当面100人を保っていくので、4校案を打ち出し柔軟に取り組んではどうか。(複数あり)</li> <li>・3人の学級になる時が見えている。複雑な気持ちである。学年1桁になれば統合の検討に入ってもいいのではないかと。</li> <li>・北斗幼稚園では大川地区と大塚地区の幼児がほぼ。大塚小学校と大川小の再編というのも選択肢の一つではないかと思う。(複数)</li> <li>・いっしょに2校にしないでじょじょに統合したほうが理想ではないか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 中郡小<br>げんき保<br>大川小<br>大塚小<br>吉島小<br>中郡小       |
| 慎重意見    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2校案の(仮称)第1小は児童500人程度になり、大規模になる。大きすぎるのではないかと。小学校の中で、どういう教育を行って、社会性や協調性を具体的に作っていくのが大事だと思う。そういう教育のあり方を大事に考えてほしい。地域とのつながりや活動も考慮し、検討すべき。</li> </ul>                                                                                                                                            | 東沢                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路、舗道の安全が確保されないうちは賛成できない。</li> <li>・地域に学校を残したほうがよい。</li> <li>・子どもの人数が増えると先生の目が行き届かなくなるから心配だ。</li> <li>・いま保護者間のコミュニケーションがよいが、大規模になるとわからない。</li> <li>・子どものとまどいが心配される。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 高山小<br>中郡小<br>大川小<br>吉島小                      |
| 小規模校の良さ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域から学校がなくなれば、なおさら人がいなくなる。少規模校の良さもある。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                           | 玉庭                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校は地区にあってほしい。小規模校の良さを大切にほしい。(複数)</li> <li>・いろいろな選択肢をもって検討してほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 玉庭小<br>大川小                                    |
| 地域との関わり | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年の2校案は現実的ではない。地域づくりの観点から考えてほしい。小規模校の地区も頑張ってきた。完全複式学級になるところが当面の課題。</li> <li>・地区としては学校がなくなることは地域の衰退につながる。安心して暮らせるには小学校があるといい。(複数)</li> <li>・10数年で中学校が統合し、小学校もなくなると、地域の人口も減少し若者も減少する。地域としては施設がなくなると困る。施設はあって当たり前と考える。</li> <li>・地域との関わりで活動してきたが、統合後、地区独自の活動が無理になるのではないかと。(複数)</li> </ul> | 吉島<br>玉庭<br>東沢<br>大塚       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校が地域と一体になれる行事を今後考えてほしい。</li> <li>・地域との関わりが大事。幼児施設がなくなった地域は人口減少が著しいのではないかと。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 吉島小<br>東沢小                                    |
| 要望      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校に児童が集まる統合もあってよいのではないかと。地域を活かす発想があってよい。(複数)</li> <li>・子どもが不安を持たないよう交流をもってほしい。(複数)</li> <li>・地域の恵まれた環境を活かしてほしい。(複数)</li> <li>・将来予測をきちんと立ててやるべき。</li> </ul>                                                                                                                              | 吉島<br>東沢<br>小松<br>大塚<br>中郡 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間交流は積極的に進めてほしい。(多くの小学校から複数あり)</li> <li>・学習、スポーツともほどよい人数にしてほしい。(複数)</li> <li>・学校駐車場、通学路の整備をしてほしい。(複数)</li> <li>・通学手段(バス)をきちんとしてほしい。(複数)</li> <li>・意見を自由に言える懇談会を今後も続けてほしい。</li> <li>・行政(教育委員会)が責任をもって提案を進めてほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 玉庭保<br>北斗幼<br>高山小<br>東沢小                      |
| 質問等     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の検討スケジュールについて</li> <li>・中学校統合と廃校利用について</li> <li>・統合年度について</li> <li>・幼稚園統合時の経過について</li> </ul>                                                                                                                                                                                           | 複数会場                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境の充実の意味について</li> <li>・段階的な統合について</li> <li>・いじめについて</li> <li>・学級の適正規模について</li> <li>・中学校統合、幼稚園統合時の説明不足について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 複数校                                           |

## (2) パブリック・コメント（意見募集）

平成26年4月15日から5月9日までの間、「将来の町内小学校学区の再編の方向性（考え方）」及び「学区再編の基準・ルール化」について、町民の皆さんから意見募集を行ったところ次の3件の意見があった。

### \*意見の内容

| No. | 項 目               | 内 容                                                                                                                                                        |
|-----|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 学区再編の考え方について      | なるべく小さいうちからたくさんの人と接してもらいたい。<br>学校統合問題に関しては地域ではなく子供達の事を優先に考えて行ってほしい。低学年時の一人での下校が心配。統合もいきなり1校ではなく段階をふんで統合していったらいいのではないかな。                                    |
| 2   | 検討開始時期の基準について     | 地域・保護者が納得のいくように時間をかけて進めてほしい。<br>全校児童が20人を切るような状況が学校運営上、また、子供たちのとてもどうなのか、再編ありきではなくとも話し合う時期ではないでしょうか。                                                        |
| 3   | 学区再編の考え方と再編時期について | 児童数が少なくなると、様々な学校運営が厳しくなると思う。少なすぎる人数での教育環境はデメリットのほうが大きいのではないかな。<br>小規模校の良さも承知しているので、一概には言えないが、集団の中での活動や協調性など、いずれは大きな環境へ進む過程を考えれば、平成29年度が再編の一定の目途ではないかと考えます。 |

## (3) 平成26年度小学校学区再編に関する懇談会

平成25年度に引き続き、各幼児施設、各小学校の保護者及び一般町民の方を対象に懇談会を開催した。

○開催期間：平成26年9月から11月まで

○会 場：各幼児施設（6施設）、各小学校（8施設）

各地区交流センター等（7施設） 計21施設

○参 加 者：保護者 150名 一般町民 82名

○懇談内容：「学区再編の方針、検討の基準とルール」、「合意形成のあり方」等の資料により事務局から説明を行い、質疑・意見・要望等を受けた。

○懇談内容：主な懇談内容は次のとおり

### ※保護者懇談会

#### \*全体的に見て

・学区再編の基本的な考え方、検討を開始する基準とルールについて、保護者からは異論はなく、昨年度の懇談会と同様に児童数の推移からやむなしという意見が多かった。また、個別に検討が開始された場合、教育委員会が具体的な案を提示し進めてほしいという意見もあった。

### ※地区（一般町民）懇談会

#### \*全体的に見て

・学区再編の方針については、一定の理解が示されたものと感じられた。しかし、検討を進めるうえで、人口減少対策など地域活性化の取り組み等もあわせて地域と十分な議論を重ねるべきとの意見が多かった。

平成26年度小学校学区再編に関する保護者懇談会・地区懇談会の主な意見・要望等

| 項目        | 地区懇談会の意見・要望等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 懇談会場                 | 保護者懇談会の意見・要望等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 懇談会場                             |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 統合推進      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級になることが予測されるのであれば早く進められないか。</li> <li>・計画を作って統合を進めてほしい。</li> <li>・2人とかの学級よりは、多い人数の学級のほうが社会性なども育つのではないか。中学校で一つになるので、学習面、活動面など同歩調で育てていくほうが良い。学校生活の中でいろいろな個性のある先生と触れ合える環境で育ててほしい。</li> <li>・1学年に児童が1人の状態が出てくるのは、親として胸がつかれる思い。一刻も早く検討に入ってほしい。</li> <li>・小規模の小学校から大規模な中学校へ進学する戸惑いを考えると、地域の意見が反対だとしても保護者としては統合の話は進めてほしい。</li> <li>・英語が教科化される前までには統合を考えてほしい。</li> </ul> | 玉庭保<br>大川小<br>小松小<br>東沢小         |
| 統合やむなし    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年から完全複式学級になれば統合は免れない話である。</li> <li>・少子化になって、川西町の存続も危ぶまれているとなれば統合は必然だと思う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 東沢                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが減って通学班が組めなく不安。複式学級にも不安がある。落ち着いた環境を作してほしい。</li> <li>・人数のものと少ない学校は統合せざるを得ないということは分かっている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                              | 玉庭保<br>玉庭小                       |
| 再編具体例     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が減ることを見越して初めから1校にすることはできないか。</li> <li>・山形県では少人数学級編成をやっているが、国では1年生の35人学級を40人学級に戻すという話もある。そうなれば、学級数がもっと減っていくことが予想されるので、1校にまとめ町内の児童に同じ教育を平等に与えたほうが良い。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 小松<br>中郡             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成33年で1学年3～4クラスになるので、初めから1校という案はないのか。1校も視野に入れるべき。</li> <li>・北斗幼稚園のつながりで大塚小と大川小との統合から始まり、段階的に統合していくという考えはないのか。</li> <li>・段階的に統合していくより、二度手間を省くため2校でも良いのではないのか。</li> <li>・学年に児童1人というのは可哀そう。いずれ統合すると思うが、一気に進めるよりは段階的にいき、地域の意見も聞いてほしい。</li> <li>・美郷幼稚園のつながりで吉島小と中郡小との統合が望ましいのではないのか。</li> <li>・2校案を大事にしてほしい。少子化により統合は避けられない。学校の引っ張り合いが無いようにしてほしい。</li> </ul>            | 中郡小<br>大塚小<br>高山小<br>吉島小<br>げんき保 |
| 慎重意見      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後の地域と子どもたちとの関わりも考えて、慎重に進めてほしい。</li> <li>・統合後のいじめや不登校などの問題が心配だ。</li> <li>・子どもが学級に一人、二人では悪いというのは大人が感じることであって、子どもは感じていないかもしれない。</li> <li>・地域に教育の場があるのがよいと思う。児童が大勢であればいいというのは疑問がある。デメリットも考えられる。ただ、避けられないようであれば合理的にしたほうが良い。</li> <li>・統合するに当たり、地域が活性化するところが見えてくれば保護者や地域の人も納得するのではないか。人口減少対策、地域振興対策などを充実していくようにしなければならない。(複数)</li> <li>・統合になると勤めの近くや学校の近くに住もうという考えが出るのではないかと不安。</li> <li>・地域から学校がなくなるのは悲しい。</li> <li>・第4次総合計画では人口増をうたっている一方で、子どもが減るからと学校統合の話を進めるのはおかしい。</li> </ul> | 中郡<br>玉庭<br>吉島       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の中に学校がなくなることに対して反対している人がいる。地域から学校がなくなると寂しくなる、さびれる、地域がなくなると考えているので統合が進まないのではないのか。</li> <li>・急激な減少とは考えられない。ただ、大勢で学ぶメリットがあるのかもしれない。</li> <li>・早いうちの統合は賛成だが、地域の拠点としての学校がなくなること課題がうまれないか。</li> </ul>                                                                                                                                                                  | 玉庭小<br>美郷幼<br>玉庭保                |
| 複式学級      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級になった場合に学力の低下はどうなるのか。子どもが少なくなるというのは社会教育の面で影響は出るのか。学校の本分は教育で、今後学力への影響がどうなっていくかだと思う。</li> <li>・複式学級では、子どもたちが背中合わせになったり、L字型になって授業を行っていた。先生が各学年時間配分をしながら教えていた。大変なことだと思う。</li> <li>・6年間複式学級ということがあると、それはどうかと思う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                       | 吉島<br>東沢             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級はいけないのか。学業的には問題ないのではないのか。</li> <li>・複式学級で学力が低下したという事例はあるか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 玉庭保                              |
| 地域との関わり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の若い保護者は、いい環境であればどこでも良いとの考えで、地区との交流が少ないのではないのか。若い人たちには教育の他に地区のことも考えてもらいたい。</li> <li>・学区再編だけではなく地区のことも含めて考えていかなくてはならないと思う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 大塚<br>玉庭<br>東沢<br>中郡 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が少なくなってきた。人口を増やすという想定などはしていないのか。</li> <li>・これから町や国が人口増にどう取り組むのか。</li> <li>・通学路の安全対策はどうか。統合が決定してから対策となるのか。防雪柵の設置についても進めてほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                           | 中郡小<br>高山小<br>東沢小<br>北斗幼         |
| (仮称)検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級が見込まれる校区単位の検討委員会を立ち上げる一方で、他の学校はどうか。川西の学校全体で検討委員会を立ち上げて協議を行っていくわけではないのか。</li> <li>・バラバラな検討でなく、指針を出していかなければならないのではないのか。</li> <li>・委員会はかなり重い責務になると思う。このままでいいとは思っていないはずで、行政として指導力を発揮し指針を出していかなければ、合意形成などならないのではないのか。</li> <li>・検討委員会を立ち上げ、統合までの時間はどの程度かかるのか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                        | 吉島<br>東沢             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最短で準備期間を含めて何年くらいで統合となるのか。(複数)</li> <li>・統合の主体となるのはどこか。</li> <li>・町にもかかわってほしい。また、地区内に1つの小学校なので地域の人にも入ってもらい検討をしてもらいたい。</li> <li>・どの時点で、統合すると決定されることになるのか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                 | 大塚小<br>大川小<br>中郡小<br>東沢小<br>高山小  |
| 要望        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の案としてイメージを出してもらえば議論はできると思う。中長期的なものを示してほしい。</li> <li>・住まいや勤務地が近くにあるという要件とともに、小学校が近くにあるということも考えてもらいたい。独身男女の婚活についても身近な問題だ。結婚して子供を増やしてほしい。働く場は農業以外の他産業に従事せざるを得ない。働く場を川西に誘致してほしい。産業の場を設けてほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                       | 大塚<br>吉島<br>玉庭<br>中郡 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから結婚する人、子どもはいなくても将来保護者になる人にもこのような懇談の機会を持てほしい。</li> <li>・長期的な資料等がないと将来予測ができないのではないのか。また、他の事例(成功事例)など示してもらえば判断材料になる。</li> <li>・空校舎を利用し、不登校生などのケアを考えてはどうか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                               | 中郡小<br>東沢小<br>玉庭保                |
| 質問等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編整備に向けた施設の容量について(複数)</li> <li>・不登校について</li> <li>・平成18年2月に示された計画について</li> <li>・廃校利用について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 複数会場                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編整備に向けた施設の容量について(複数)</li> <li>・アンケート調査について</li> <li>・スクールバスについて(複数)</li> <li>・統合を受ける側の検討について(複数)</li> <li>・学校支援地域本部との関係について</li> <li>・他会場での懇談内容について(複数)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                | 複数校                              |

## 5 学区再編の基本的な考え方

### (1) 児童数の推移に基づき教育効果の充実を図るため、小学校の適正配置（再編整備）について検討する。

全国的な傾向と同様に本町においても児童数が減少し続けており、学校によっては子どもたちの学習や学校運営等に支障が出始めている。この傾向は今後も続き、平成18年度の児童数が913名であったのに対し、平成26年5月1日現在では762名、7年後の平成33年度（平成26年度出生者が小学1年生になる年度）には616名になると見込まれる。また、ここ数年は、年間100名をきる出生数であり、児童数の減少に歯止めがかからない状況になっている。

今後の児童数の予測及び学級編成の変化をみると、複式学級から完全複式学級の編成となる学校があり、その場合、教育環境に様々な影響を及ぼすものと憂慮される。学級数が減少すれば、現行法により教職員の配置にも影響し、養護教諭の他校との兼務、事務職員の未配置等となり、教職員一人ひとりの負担が増え、学習指導研究への支障が懸念される。

協議会ではこうした状況に鑑み、子どもたちの教育効果の充実を図ることを第一に、学校としての機能を高め、子どもたちの成長にとって望ましい教育環境の整備を図る視点から、現在が学区再編を検討する時期であると考えている。

### (2) 子どもたちの教育環境の向上を優先とする。

学校教育法では、小学校教育の目標の一つとして学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことなどを定めている。「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く育成することに加え、社会性の育成に配慮することを通じて、変化の激しいこれからの社会の中で「生きる力」をより一層育み、すべての子どもに自立して社会で生きていく基礎を培うことをめざしているものである。

こうした中、本町では、次代を担う子どもたちの社会性や協調性を育成できる環境を整備することを優先し、適切な学校規模を検討する必要がある。

### (3) 児童の望ましい教育環境を実施するうえで、当面、1学年1学級以上（複式学級の解消）の編成を適切な学校規模とする。

文部科学省が例示している学校規模による学習面、生活面、学校運営面等におけるメリット・デメリットによると、一般的に小規模校においては、教職員と児童の人的なふれあいや、児童それぞれの特性を把握しやすく、個に応じたきめ細かな指導ができるほか学年間の縦の交流が図りやすく、学校が一体となって活動しやすいなど、小規模校ならではのメリットがあると言われる。

一方、児童間の意見交換や多様な学びあい、グループ学習や体育・音楽等の集団での教育が制約されるなど、必ずしも望ましい教育環境にあるとは言えないと指摘され

ている。

小規模校のメリットは、小規模校でなければ得られないものではなく、適正規模校及び大規模校においても工夫によって達成が可能であると思われる。

複式学級については、一人の教師が2学年の児童を同時に指導するため、教師の指導力等において負担が大きく、さらに変則複式学級<sup>(注)</sup>まで進めば、指導計画・指導方法の上で様々な課題が生じる。今後、英語の教科化としての導入等、新たな学習課題への対応も懸念される。児童においては、自学自習力は身につくものの、グループ学習や児童間で課題を議論するといった学習方法を習得できないだけでなく、運動会や学芸会等の学校行事をとおした体験学習が困難になると考える。

町内の小学校間での学力に大きな差は認められないものの、小規模校はそのメリットを斟酌しても、小学校教育の目標達成には多くの課題を抱えている状況と言わざるを得ない。

小学校区の歴史的背景や小学校の地域における拠点としての役割を考慮しても、子どもたちへの教育の機会均等と教育水準の維持向上、社会性や豊かな人間性を育成する教育環境を維持するうえで、複式学級の解消を図る学級編成を本町の適切な学校規模と考える。

---

\*注 学校全体で複式学級が2学級（例：1・3年で1学級、4・6年で1学級）、又は、1学級（例：3・5年のみ）の欠落する学年がある学級編成。

#### （４）学区再編の個々の検討を進め、今後、概ね10年以内に学区再編を進める。

本町では、地域における小学校の役割は大きく、地域と小学校が相互に密接な関わりを持ちながら学校運営や地域づくりが行われてきたところである。

そうした状況を踏まえ、児童数の推移予測や該当校における学校運営上の課題、地域づくりへの課題など、個々の課題解決にむけた検討を進め、保護者や地域住民の方の理解を得、再編整備の合意が整った小学校区から、段階的な学区再編を進めていくべきである。

なお、本町の児童数の減少傾向と各校の児童数推移を見ると、将来における小学校の適正配置については、平成18年計画の案も想定される。

### 6 小学校学区再編検討の基準とルール

今後の具体的な学校の配置、通学区域を定めるにあたっては、行政（教育委員会）の計画を一方的に進めるのではなく、小学校が存する地域の保護者や住民の方が、その地域の次代を担う子どもたちのより望ましい教育環境の実現を図るため、当該通学区域における将来の小学校のあり方について、当該通学区域ごとに検討していくことが望ましい。

また、検討にあたっては、どのような時期に検討を始めるか、一定の基準とルールを定めておくことが必要であり、その検討を開始する段階の基準とルールを次のとおりとすることが望ましいと考える。

#### （１）複式学級が発生している、あるいは複式学級が発生すると見込まれる1～2年前

から検討する。

- (2) 完全複式学級となる当該年度、あるいは完全複式学級の学級編成が見込まれる1～2年前から検討する。
- (3) 地域や保護者(P T A)等の合意を得て、検討要請を受けた次年度から検討する。
- (4) 教育委員会は教育環境の大きな変化に対応するため、必要に応じて検討を提案できるものとする。

## 7 検討方法と合意形成のあり方

学区再編の検討を進める上で、当該通学区域内の関係者(地区民代表・保護者代表・各種団体の代表・有識者・教育委員会など)による協議する場合、「(仮称)〇〇小学校学区再編検討委員会」を設置する必要があると考える。

その中では、当該通学区域にある学校の統廃合の是非を検討し、結果、再編整備の合意が確認されれば、新たな通学区域の設定、開校の目標年次の設定などについて、概ね1年以内を目途にその方向性を決定することが望ましいと思われる。

保護者や地域の方へは、必要な情報を教育委員会より提供し、十分な説明を行い、理解を得るよう努めるとともに、合意形成がなされたうえで進めるべきものとする。

なお、合意を得る手法として、次のような方法が考えられるが、当該通学区域に設置される協議の場で具体的手法を検討されたい。

### ○保護者へのアプローチ(例)

- ①保護者会総会(幼児施設)                      ②P T A総会(小学校)
- ③アンケート調査(保護者・児童)

### ○地区住民へのアプローチ(例)

- ①地域づくり協議会等の総会                      ②地区懇談会・各自治会懇談会
- ③地区民アンケート調査

## 8 おわりに

本協議会は、未来を担う子どもたちにとって、安全で安心して学べる質の高い教育環境の整備につながる小学校区の見直しについての諮問を受け、保護者や地域住民との懇談会で出された意見等を参考としながら、学区再編という課題に取り組んできた。

子どもたちにとっての望ましい教育環境は、適正な児童集団が確保され、その中で多様な出会いによるゆたかな人間形成と学力・体力の向上が図られることにある。教科学習はもとより学校行事や児童会活動をとおり、学校内の活性化が図られ子どもたちが自身のたくましく生きる力が育まれるものと期待される。

今後、答申内容に沿って学区再編の検討がなされる場合、保護者や地域住民の理解と合意を得ながら進めていくことは勿論のこと、検討にあたっては、教育委員会が未来を見据えた確かな教育をめざし、教育の目標を掲げ、めざす子ども像を明確にして、具体的な再編整備案等を提案しながら進めていくべきものとする。

加えて、各小学校はその地域住民の拠り所であり、かつ、地域のシンボリック施設であることから、子どもたちにとって最適な教育環境を整えることを目的とするにしても、小学校の統廃合が地域に与える影響が大きいことから、空き校舎の有効活用や若者の定住施策など、地域が活性化していく総合的な地域振興策が必要であるとする。

子どもたちは地域の次代を担う貴重な財産であり、学校教育は人格形成の基礎をなすものであり、子どもたちの創造性と人間性が豊かに育成されるよう期待するものである。

なお、現在、文部科学省においても学校の統廃合を促す新たな指針づくりが検討されていることから、その動向も注視しながら推進されたい。

本協議会の答申が、これからの川西町の教育環境の向上に役立つことを念願するものである。

## 【 参 考 資 料 】



教 総 発 第 1 2 8 号  
平成 2 5 年 5 月 2 7 日

あすの川西町の小学校を考える協議会  
会長 廣 居 安 子 様

川西町教育委員会  
委員長 佐 藤 富士雄



### 川西町の小学校区の見直しについて（諮問）

本教育委員会では、平成 1 8 年 2 月に学校教育環境の充実を具現化するため「学校規模の適正化に向けた通学区域の見直しに関する計画書」を策定し、各地区座談会等を踏まえ、学校規模の適正化、通学区域の見直しの検討を進めてまいりました。座談会等でいただいたご意見、ご要望を勘案した結果、町では計画に示された中学校の再編整備を優先して行ってきたところであります。

現在においても、本町の少子化傾向に歯止めはかからず、児童・幼児数は減少しており、そのような状況のなかで、小学校における登下校の安全確保や、学力・体力向上への対応等が学校教育の課題となっております。

そのため、教育委員会では、将来における小学校の望ましい教育環境について、平成 2 5 年度から本格的に検討を行うこととしております。

その際には、子どもたちの教育上の利益を最優先とし、保護者及び地域住民に情報を公開しながら、学区再編を検討する際の基準等について合意形成を図っていくことが大切であると考えております。

つきましては、本町のより望ましい教育環境の実現を図るため、将来における小学校学区のあり方についてご提言をいただきたく、下記事項について諮問いたします。

### 記

1. 諮問事項 川西町の将来における小学校学区のあり方について
2. 答申期日 平成 2 6 年 1 2 月まで

## あすの川西町の小学校を考える協議会設置要綱

公布：平成25年5月8日

### (設置等)

第1条 児童の安全と教育効果の充実を目的として、校区の見直しの方向性について検討し、最も教育環境の整った町立小学校の適正配置を実現するため、あすの川西町の小学校を考える協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について、教育委員会の諮問に応じ、将来的な課題を検討し、教育委員会へ提言や意見を答申するものとする。

- (1) 本町における小学校の適正規模に関すること。
- (2) 本町における小学校の適正配置に関すること。
- (3) その他、本町における小学校の適正配置等に関し必要と認められること。

### (組織)

第3条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 地域団体代表者
- (3) 保護者代表
- (4) 教育関係者

### (任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

- 2 協議会は、会議の議決をもって協議会の議決とすることができる。
- 3 協議会は、必要に応じて、関係者に必要な資料の提供を求め、又は協議会に出席させて説明を求めることができる。

(地区検討委員会)

第7条 協議会は、各小学校単位で地区検討委員会を設置することができる。

- 2 地区検討委員会は、地区の教育環境等の課題を整理、検討するものとする。
- 3 地区検討委員会の委員は、当該地区在住の住民の中から選任するものとする。
- 4 協議会の委員が地区検討委員会の委員になることを妨げない。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、教育委員会教育総務課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

あすの川西町の小学校を考える協議会委員

| 区 分  | 氏 名            | 役 職 等         | 備 考 |
|------|----------------|---------------|-----|
| 1号委員 | 馬 場 重 行        | 米沢女子短期大学教授    |     |
| 〃    | 廣 居 安 子        | 前吉島小学校長       | 会 長 |
| 〃    | 片 倉 明 子        | 川西中学校学校評議員    |     |
| 〃    | 菅 井 美智子        | 美女木げんき保育園施設長  |     |
| 〃    | 大 木 佐知子        | 米沢工業高等学校教諭    |     |
| 2号委員 | 長 澤 善 久        | 中郡地区交流センター長   |     |
| 〃    | 寒河江 雅 広        | 青少年育成推進員会長    | 副会長 |
| 〃    | 玉 田 義 信        | かわにし塾わけしゅ     | ウ   |
| 〃    | 島 貫 由 実        | 放課後児童クラブきらり   |     |
| 3号委員 | 田 中 和 広 (25年度) | 川西町PTA連合会長    |     |
|      | 堀 越 満 博 (26年度) |               |     |
| 〃    | 佐々木 満 樹 (25年度) | 美郷幼稚園保護者会長    |     |
|      | 島 津 友 幸 (26年度) |               |     |
| 〃    | 須 貝 英 樹 (25年度) | 北斗幼稚園保護者会長    |     |
|      | 佐 藤 一 博 (26年度) |               |     |
| 〃    | 渡 部 龍 平 (25年度) | 小松保育所保護者会長    |     |
|      | 神 尾 亜希之 (26年度) |               |     |
| 〃    | 渡 部 昭 (25年度)   | 玉庭へき地保育所保護者会長 |     |
|      | 小 野 憲 一 (26年度) |               |     |
| 〃    | 加 藤 隆 行        | 小松幼稚園PTA会長    |     |
| 4号委員 | 金 子 正 美        | 川西町小中学校長会会長   |     |
| 〃    | 天 笠 善 照        | 天笠学園小松幼稚園理事長  |     |

\*小学校児童数・学級数推移表 (26年度: 学校基本調査 平成27年度以降: H26. 9. 17現在推計)

| 平成26年度(26.5.1: 学校基本調査) |    |    |    |    |    |    |     |    |     | 平成27年度 |    |     |     |     |     |     |     |    |   | 平成28年度 |    |     |     |     |     |     |   |    |   |
|------------------------|----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|---|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|---|----|---|
| 児童数                    | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計   | 内特 | 計   | 児童数    | 1年 | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計   | 内特 | 計 | 児童数    | 1年 | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計 | 内特 | 計 |
| 大塚小学校                  | 22 | 16 | 22 | 8  | 13 | 24 | 105 | 3  | 13  | 100    | 15 | 19  | 22  | 16  | 22  | 8   | 102 |    |   | 13     | 15 | 19  | 22  | 16  | 22  | 10  |   |    |   |
| 大川小学校                  | 12 | 10 | 11 | 12 | 11 | 14 | 70  | 2  | 11  | 59     | 7  | 3   | 12  | 10  | 11  | 12  | 55  |    |   | 10     | 7  | 3   | 12  | 10  | 11  | 10  |   |    |   |
| 小松小学校                  | 39 | 40 | 47 | 43 | 51 | 48 | 268 | 6  | 47  | 267    | 28 | 47  | 39  | 40  | 47  | 43  | 244 |    |   | 47     | 28 | 47  | 39  | 40  | 47  | 47  |   |    |   |
| 中部小学校                  | 23 | 24 | 17 | 11 | 15 | 20 | 110 | 4  | 15  | 105    | 14 | 15  | 23  | 24  | 17  | 11  | 104 |    |   | 22     | 14 | 15  | 23  | 24  | 17  | 11  |   |    |   |
| 高山小学校                  | 6  | 6  | 6  | 3  | 6  | 3  | 34  | 1  | 3   | 30     | 2  | 3   | 6   | 6   | 6   | 3   | 26  |    |   | 1      | 2  | 3   | 6   | 6   | 6   | 6   |   |    |   |
| 吉島小学校                  | 19 | 19 | 19 | 13 | 22 | 11 | 111 | 4  | 22  | 111    | 22 | 22  | 19  | 19  | 19  | 19  | 120 |    |   | 18     | 22 | 22  | 22  | 19  | 19  | 19  |   |    |   |
| 玉庭小学校                  | 5  | 3  | 3  | 9  | 7  | 4  | 31  |    | 4   | 27     | 5  | 4   | 5   | 3   | 3   | 9   | 29  |    |   | 6      | 5  | 4   | 5   | 3   | 3   | 3   |   |    |   |
| 東沢小学校                  | 6  | 3  | 7  | 6  | 3  | 8  | 33  | 1  | 2   | 27     | 1  | 2   | 6   | 3   | 7   | 6   | 25  |    |   | 2      | 1  | 2   | 6   | 3   | 7   | 7   |   |    |   |
| 合計                     | 32 | 21 | 32 | 11 | 19 | 47 | 762 | 21 | 115 | 730    | 94 | 115 | 122 | 121 | 122 | 115 | 705 |    |   | 119    | 94 | 115 | 122 | 121 | 122 | 115 |   |    |   |
| 学級数                    | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 計   | 特  | 支   | 学級数    | 1年 | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計   | 特  | 支 | 学級数    | 1年 | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計 | 特  | 支 |
| 大塚小学校                  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   | 2  | 1   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 大川小学校                  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   | 2  | 1   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 小松小学校                  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 12  | 2  | 2   | 10     | 2  | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 12  |    |   | 2      | 2  | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |   |    |   |
| 中部小学校                  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   | 2  | 1   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 高山小学校                  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   | 2  | 1   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 吉島小学校                  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   | 2  | 1   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 玉庭小学校                  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 3  | 1   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 4   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 東沢小学校                  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 6   | 2  | 1   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 合計                     | 8  | 9  | 6  | 9  | 6  | 9  | 47  | 12 | 8   | 45     | 6  | 8   | 5   | 9   | 6   | 9   | 41  |    |   | 0      | 7  | 8   | 5   | 8   | 5   | 9   |   |    |   |

| 平成30年度 |     |     |    |     |     |     |     |    |   | 平成31年度 |     |     |     |     |     |     |     |    |   | 平成32年度 |    |     |     |     |     |     |   |    |   |
|--------|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|---|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|---|--------|----|-----|-----|-----|-----|-----|---|----|---|
| 児童数    | 1年  | 2年  | 3年 | 4年  | 5年  | 6年  | 計   | 内特 | 計 | 児童数    | 1年  | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計   | 内特 | 計 | 児童数    | 1年 | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計 | 内特 | 計 |
| 大塚小学校  | 16  | 13  | 15 | 19  | 22  | 16  | 101 |    |   | 18     | 16  | 13  | 15  | 19  | 22  | 13  | 94  |    |   | 10     | 13 | 18  | 16  | 13  | 15  | 16  |   |    |   |
| 大川小学校  | 11  | 10  | 7  | 3   | 12  | 10  | 53  |    |   | 16     | 11  | 10  | 7   | 3   | 12  | 7   | 56  |    |   | 8      | 9  | 16  | 11  | 10  | 7   | 6   |   |    |   |
| 小松小学校  | 39  | 47  | 28 | 47  | 39  | 40  | 240 |    |   | 29     | 39  | 47  | 28  | 47  | 39  | 47  | 226 |    |   | 36     | 36 | 29  | 39  | 47  | 28  | 215 |   |    |   |
| 中部小学校  | 12  | 22  | 14 | 15  | 23  | 24  | 110 |    |   | 19     | 12  | 22  | 14  | 15  | 23  | 14  | 98  |    |   | 13     | 16 | 19  | 12  | 22  | 14  | 96  |   |    |   |
| 高山小学校  | 2   | 1   | 2  | 3   | 6   | 6   | 20  |    |   | 5      | 2   | 1   | 2   | 3   | 6   | 19  | 16  |    |   | 3      | 3  | 5   | 2   | 1   | 2   | 16  |   |    |   |
| 吉島小学校  | 22  | 18  | 22 | 19  | 19  | 122 | 122 |    |   | 21     | 22  | 18  | 22  | 22  | 19  | 124 | 115 |    |   | 14     | 10 | 21  | 22  | 18  | 22  | 107 |   |    |   |
| 玉庭小学校  | 4   | 6   | 5  | 4   | 5   | 3   | 27  |    |   | 1      | 4   | 6   | 5   | 4   | 5   | 25  | 25  |    |   | 3      | 5  | 1   | 4   | 6   | 5   | 24  |   |    |   |
| 東沢小学校  | 2   | 2   | 1  | 2   | 6   | 3   | 16  |    |   | 3      | 2   | 2   | 1   | 2   | 6   | 16  | 16  |    |   | 1      | 3  | 3   | 2   | 2   | 2   | 12  |   |    |   |
| 合計     | 108 | 119 | 94 | 115 | 132 | 121 | 589 |    |   | 112    | 108 | 112 | 108 | 119 | 122 | 630 | 633 |    |   | 88     | 95 | 112 | 108 | 119 | 122 | 616 |   |    |   |
| 学級数    | 1年  | 2年  | 3年 | 4年  | 5年  | 6年  | 計   | 特  | 支 | 学級数    | 1年  | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計   | 特  | 支 | 学級数    | 1年 | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計 | 特  | 支 |
| 大塚小学校  | 1   | 1   | 1  | 1   | 1   | 1   | 6   | 2  | 1 | 1      | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 大川小学校  | 1   | 1   | 1  | 1   | 1   | 1   | 6   | 2  | 1 | 1      | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 小松小学校  | 2   | 2   | 2  | 2   | 2   | 2   | 12  | 2  | 2 | 1      | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 12  | 12  |    |   | 2      | 2  | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |   |    |   |
| 中部小学校  | 1   | 1   | 1  | 1   | 1   | 1   | 6   | 2  | 1 | 1      | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 高山小学校  | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 3  | 1 | 1      | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 4   |    |   | 0      | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |   |    |   |
| 吉島小学校  | 1   | 1   | 1  | 1   | 1   | 1   | 6   | 2  | 1 | 1      | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 玉庭小学校  | 1   | 1   | 1  | 1   | 1   | 1   | 6   | 2  | 1 | 1      | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 6   |    |   | 1      | 1  | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |   |    |   |
| 東沢小学校  | 0   | 0   | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 3  | 1 | 1      | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 4   |    |   | 0      | 0  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |   |    |   |
| 合計     | 7   | 9   | 4  | 9   | 5   | 8   | 42  | 0  | 5 | 40     | 6   | 8   | 5   | 9   | 4   | 9   | 41  |    |   | 6      | 8  | 5   | 8   | 5   | 8   | 6   |   |    |   |

※特別支援学級については、具体性を伴わないので、平成27年度以降の想定は行わない。

# 児童数減少による学級編成の変化と教育環境ステージ

川西町教育委員会  
平成26年9月

| 平成26年9月 |              |                                                                |      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |         |        |                                                       |       |                                     |                                 |                                                                                        |  |
|---------|--------------|----------------------------------------------------------------|------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---------|--------|-------------------------------------------------------|-------|-------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--|
| ステージ    | 学級編成         | 編成の内容                                                          | 学級数  | 年度毎の各学校のステージ推移予測     |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      | 教育環境の変化 | 排除への影響 | 通学への影響                                                | 配置教員数 | 他市町の学校が統廃合に入った事例                    | 備考                              |                                                                                        |  |
|         |              |                                                                |      | H26                  | H27                  | H28                  | H29                  | H30                  | H31                  | H32                  | H33                  |         |        |                                                       |       |                                     |                                 |                                                                                        |  |
| 0       | 1<br>単式学級Ⅰ   | 全学年2学級以上                                                       | 12以上 | 小松                   |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |         |        |                                                       |       |                                     |                                 |                                                                                        |  |
|         | 2<br>単式学級Ⅱ   | 学年1～2学級                                                        | 6～11 | 大塚<br>大川<br>中郡<br>吉島 | 小松<br>大塚<br>中郡<br>吉島 | 小松<br>大塚<br>中郡<br>吉島 | 小松<br>大塚<br>中郡<br>吉島 | 小松<br>大塚<br>中郡<br>吉島 | 小松<br>大塚<br>中郡<br>吉島 | 小松<br>大塚<br>中郡<br>吉島 | 小松<br>大塚<br>中郡<br>吉島 |         |        |                                                       |       | ・酒田市中平田小、東平田小、北平田小<br>(2013年平田小に統合) |                                 |                                                                                        |  |
| Ⅰ       | 1<br>複式学級Ⅰ   | 複式1学級と単式4学級<br>(2以上の学年の児童を1学級に編制)                              | 5    |                      |                      | 大川                   |                      | 大川                   |                      | 大川                   |                      |         |        | ①複式学級が1クラス。1担任が2学年を同時に授業。                             |       |                                     | 校長、6(教頭、教諭)<br>1事務<br>1養教<br>1技 | ・鶴岡市湯田川小(2014年に朝陽四小に統合)                                                                |  |
|         | 2<br>複式学級Ⅱ   | 複式2学級と単式2学級<br>(2以上の学年の児童を1学級に編制)の出現                           | 4    | 高山<br>東沢             | 高山<br>玉庭             | 玉庭                   |                      | 玉庭                   |                      |                      |                      |         |        | ②複式学級が2クラス。                                           |       |                                     | 校長、5(教頭、教諭)<br>1事務<br>1養教<br>1技 | ・鶴岡市田川小<br>(2014年に朝陽四小に統合)<br>・上市市東小、宮生小<br>(2013年宮川小に統合)<br>・尾花沢市高橋小<br>(2013年明徳小と統合) |  |
| Ⅱ       | 1<br>完全複式学級Ⅰ | 複式3学級<br>(1・2年、3・4年、5・6年の3つの複式学級で編制)                           | 3    | 玉庭                   | 東沢                   | 高山                   |                      |                      |                      |                      |                      |         |        | ①複式学級が3クラス。                                           |       |                                     | 校長、4(教頭、教諭)<br>1養教<br>1技        | ・寒河江市田代小<br>(2013年白岩小へ統合)<br>・大江町三郷小<br>(2012年左沢小へ統合)                                  |  |
|         | 2<br>完全複式学級Ⅱ | 複式3学級<br>(複式3学級で、1学年が極めて少人数。例：1学年1名、又は男女1名ずつ等)                 | 3    |                      |                      | 東沢                   | 高山<br>東沢             |                      | 玉庭                   | 玉庭                   | 玉庭                   |         |        | ①複式学級が3クラス。<br>②学年で1名、同級生がなし、又は少人数。<br>③学年で男女1名ずつもある。 |       | △                                   | 校長、4(教頭、教諭)<br>1養教<br>1技        |                                                                                        |  |
| Ⅲ       | 3<br>完全複式学級Ⅲ | 複式3学級<br>(複式3学級で、1学年が極めて少人数であり、かつ総児童数が20人以下)                   | 3    |                      |                      |                      | 高山<br>東沢             | 高山<br>東沢             | 高山<br>東沢             | 高山<br>東沢             | 高山<br>東沢             |         |        | ①複式学級が3クラス。<br>②同級生がなし、又は少人数となる。                      | △     | △                                   | 校長、4(教頭、教諭)<br>1養教<br>1技        |                                                                                        |  |
|         | 1<br>変則複式学級Ⅰ | 複式2学級<br>(低・中・高のいずれかの学年をまたいだり、欠学年や低と高などの編制による複式学級。例：1・3年、4・6年) | 2    |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |         |        | ①変則複式学級が2クラス。入学生がゼロの学年の出現。<br>②1・3年、4・6年、2・5年等の編制出現。  | △     | △                                   | 校長、3(教頭、教諭)<br>養教(兼)<br>1技      | ・南陽市小滝小<br>(2013年秋小に統合)<br>・大江町本郷西小<br>(2013年本郷東小と統合)<br>・山辺町島海小(2012年大寺小へ統合)          |  |
| Ⅳ       | 2<br>変則複式学級Ⅱ | 複式学級1学級<br>(欠学年が多数、例：3・5年)                                     | 1    |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |         |        | ①変則複式学級が1クラス。                                         | △     | △                                   | 校長、2(教頭、教諭)<br>養教(兼)<br>1技      |                                                                                        |  |
|         | 1<br>児童数が1名  | 1学年1学級児童数1                                                     | 1    |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |                      |         |        | ①1学年1人で1クラス。                                          | △     | △                                   | 校長、2(教頭、教諭)<br>養教(兼)、1技         | ・飯豊町中津川小<br>(2013年ノ子小へ統合)                                                              |  |

《検討のための視点》

- ①複式学級では、入学生がゼロの年であってもその後入学生がいる学年もあり、ステージを行き来する例もある。  
 ②【通学への影響】児童数の減少により排除への影響も懸念される。【通学への影響】集団登下校が不可能。少人数での通学で安全安心が保てるか。  
 ③【教員配置】教員配置基準により変化した【完全複式学級(ステージⅡ)】で事務職員配置なし、変則複式学級(ステージⅢ)で養護教諭が業務1。

# 将来の小学校学区の見直し検討を開始

「あすの川西町の小学校を考える協議会」を設置しました

## ●これまでの経過

本町では、少子化が続き、児童生徒数が減少しつつあります。そのため、町教育委員会は、平成17年度に地域、保護者、学識者による協議会を立ち上げ、将来における望ましい教育環境と小学校の学区再編について検討していただきました。

この内容は、平成18年2月に「学校規模の適正化に向けた通学区域の見直しに関する計画書」としてまとめました。

計画書では、平成25年度までに、「小学校2校・中学校1校」として開校する考えが示されています。

しかし、その後の各地区における座談会や町民との意見交換から、小学校は地域に密着していること、小学校が統合されると地域から元気がなくなるといった意見や要望が出されました。

そのため、町は中学校の統合を最優先し、平成23年4月に川西中学校を開校しました。さらに、施設の老朽化と幼児数の減少から、3つの幼児施設の統廃合を進め

成24年には美郷幼稚園を開園しました。

## ●今後6年で98人減少

平成25年5月現在の町内の小学校児童数は、778人。

平成24年度に町内で生まれた子どもは、全部で113人。この新生児が小学校1年生となる平成31年度の小学校児童数は、推計では680人となり、今年度より98人減少すると予想されます。

## ●保護者中心に構成

このように少子化が今後も続くことから、町教育委員会では、平成25年度から小学校の学区再編と将来における小学校のあり方について検討することになっています。

そのため、このほど「あすの川西町の小学校を考える協議会」を設置し5月27日に第一回協議会を開催、将来における小学校学区のあり方について、検討を開始しました。

協議会の委員は17名で、幼児施設の保護者、子育て中の女性、地域代表、学識者等で構成されています。



ます。会長には、廣居安子さん（前吉島小学校長）が選出されました。委員の任期は2年で、来年度中に検討結果を答申してもらう予定です。

教育委員会では、協議会の検討の参考とするため、今後、小学校・幼児施設ごとに懇談会を設け、保護者の方々の意見をお聞きするほか、地区単位に懇談会を開催する予定です。

なお、懇談会等の結果や、学区再編に関する情報は随時みなさんにお知らせいたします。

町教育総務課教育総務グループ  
☎4216659

# 第2回「あすの川西町の小学校を考える協議会」の検討内容を報告します



本年5月に、少子化の状況をふまえて将来における小学校のあり方について検討する「あすの川西町の小学校を考える協議会」を設置したことについては、6月15日号の町報でお知らせしました。第2回目の協議会を8月3日に開催しましたので、その協議内容を報告します。

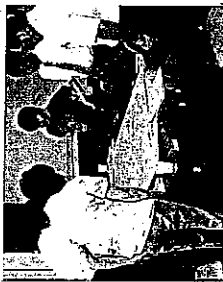
町教育総務課 教員総務グループ ☎42-6659

## 協議にあたっては 次の事項を基本には

- (1) 小学校数は、平成18年2月に策定した計画にある2校案はそのままとするが、段階的に統廃合を進めることも視野に入れます。
- (2) 学区再編は、児童の教育環境の向上を図ることを優先とします。
- (3) 統廃合の基本方針及び統廃合を検討する基準のあり方と検討の開始時期について、協議します。
- (4) 協働のまちづくりの理念に基づき、学区再編については地域・保護者の合意形成を図ることとし、その方法について協議します。

## 今回の協議会での検討項目は次の3つ

- (1) 学校規模（小規模校）によるメリット・デメリットは何か？
- (2) 今後、教育環境の低下が予想され、学校廃校が避けられないと考えられるが、学校統廃合のメリット・デメリットは何か？
- (3) 学校統廃合の合意形成は、どのように行うとよいのか？



▲ワークショップ風景

## 協議の内容

委員が3つの小グループに分かれ、意見をだしやすきようワークショップ形式により検討項目ごとにグループ討議を行いました。委員からの意見を取りまとめた内容は左表のとおりです。③の内容は次回にお知らせいたします。

なお、委員からは、①子どもの声、意見を聞くことが望ましい ②成功事例を調査してほしい ③協議内容を公開してほしいという要望がされました。

## これからの進め方

協議会でだされた意見もふまえ、今後の協議会での検討の参考とするため、各小学校及び各幼稚園施設の保護者の方々と9月から10月にかけて各施設で懇談会を開催します。

また11月から12月にかけては、各地域の住民の方々とどの懇談会も計画しております。各地区懇談会の日程については、10月15日号の町報でお知らせいたします。

▼児童数・学級数の推移見込み (平成25年)

| 学年     | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|
| 大塚小    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    |
| 大塚小    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    |
| 小松小    | 12   | 10   | 10   | 9    | 9    | 9    | 8    |
| 中郡小    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    |
| 高山小    | 4    | 4    | 4    | 4    | 3    | 3    | 3    |
| 吉島小    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    | 6    |
| 玉庭小    | 4    | 4    | 4    | 4    | 4    | 4    | 4    |
| 東沢小    | 4    | 4    | 4    | 4    | 4    | 4    | 3    |
| 合計(2校) | 48   | 46   | 46   | 42   | 42   | 41   | 39   |

| 学年    | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 大塚小   | 98   | 106  | 102  | 105  | 112  | 107  | 108  |
| 大塚小   | 70   | 69   | 58   | 54   | 51   | 51   | 58   |
| 小松小   | 287  | 263  | 262  | 238  | 244  | 235  | 224  |
| 中郡小   | 105  | 110  | 105  | 104  | 113  | 107  | 103  |
| 高山小   | 30   | 34   | 30   | 26   | 24   | 20   | 19   |
| 吉島小   | 121  | 112  | 111  | 120  | 119  | 122  | 124  |
| 玉庭小   | 35   | 35   | 35   | 32   | 27   | 27   | 27   |
| 東沢小   | 33   | 33   | 27   | 26   | 22   | 17   | 17   |
| 合計(人) | 779  | 762  | 730  | 705  | 712  | 688  | 680  |

▼検討結果（ワークショップ整理表）

| 項目                        | 具体的内容                                                                                                                                                 |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「学習指導等」                   | きめ細やかに指導してもらえない<br>・児童に先生や親（地域）の目が行き届く<br>・個別指導が充実し、学習のつまづきが少ない<br>・学習に時間がかけられる<br>・児童が授業を理解しているが、教師が判別しやすき                                           |
| 「人間関係」                    | 学校全体がまとまりやすい<br>・子どもたちのつながりが強い<br>・先生と児童とのコミュニケーションがとりやすい<br>・いじめがうまくいっている                                                                            |
| 「子ども・先生・保護者のつながり」         | 子どもと先生とのつながりが密になる<br>・先生方のコミュニケーションも深くなる<br>・保護者と先生とのつながりが密になる<br>・教職員同士の意思疎通が深まる                                                                     |
| 「地域とのつながり」                | 子ども、先生、地域の関わりが深まる<br>・地域とのつながりが深まる<br>・地域住民が子どもの顔、名前を知っており防犯上、安心である                                                                                   |
| 「学習活動等」                   | 先生方の人数の関係上、学習の幅が限定されてしまわない<br>・複式学級になると他学年の学習内容も耳や目に入り集中しにくいと思われる<br>・同じ子ども同士になるので、学びあいの機会が少なくなる                                                      |
| 「学校行事」                    | 運動や芸術活動など、集団で行う活動の幅が狭くなる<br>・クラブ活動や行事の選択が少なくなる<br>・協働性が養われないのではないか                                                                                    |
| 「交友関係」                    | 人間関係（交友関係）が固定化してくる<br>・協働性が養われないのではないか<br>・人数が多い中学校などへ行ったら、馴染めない子ができる                                                                                 |
| 「競争」                      | 学習、運動面で競い合う機会が少なくなる<br>・競争意識が低下する                                                                                                                     |
| 「児童・保護者の負担」               | 高学年の一人の役割が大きくなる<br>・清掃活動が大変になる<br>・PTAなどの役割が一人ひとりと負担増                                                                                                 |
| 「登下校の安全面」                 | 登下校の防犯対策が心配<br>・下校時、1人で帰らなければならない児童が出てくる                                                                                                              |
| 「地域」                      | ブラバシンの意識が低くなる<br>・保護者同士の考えが偏りがちになる                                                                                                                    |
| 「テーマ」 学校統廃合のメリット・デメリットは何か |                                                                                                                                                       |
| 「学習・学級活動・学校行事等」           | 児童の行事（運動会、文化祭など）の内容が充実化する<br>・統一的に指導でき、組織的に活動できる<br>・組織的な学校運営ができる<br>・にぎやかで活気が増す<br>・クラブ活動などの選択が増える<br>・先生の数が多くなり余裕ができる<br>・いじめや生活面、学習面での工夫が出来るのではないか |
| 「交友関係・人間関係（協調性・社会性）」      | 交友関係が広がる（友達が増える）<br>・人間関係の広がり（児童間、児童と生徒）<br>・様々な考えに触れることができる<br>・協調性、社会性を養える                                                                          |
| 「競争」                      | 学年間（縦のつながり）が強く<br>・切磋琢磨ができる<br>・競争心が向上する                                                                                                              |
| 「競争」                      | 競争することによって子どもたちの力が伸びる（学習、運動）<br>・競争心が向上する                                                                                                             |
| 「競争」                      | 役割が分担できる<br>・清掃が楽しくなる                                                                                                                                 |
| 「保護者」                     | 保護者同士の交流が幅広くなる<br>・PTA活動等負担が軽減される                                                                                                                     |
| 「地域活動」                    | 地区を越えて学区が広がるため、地区と小学校との関わりが変化する<br>・地域を超えて幅広いつながりができる<br>・地域ごとの情報交換ができる                                                                               |
| 「施設・設備、負担」                | 充実した教育施設、設備が可能となる<br>・財政負担が少なくなる<br>・学習面で行き届かなくなる（ついていけない児童が出てくる）                                                                                     |
| 「学習指導」                    | 教員が一人ひとりに対応できなくなる<br>・学習面で細やかな指導を受けられない<br>・平準化された教育になってしまわない<br>・学習面でできる子、できない子の差が開く                                                                 |
| 「人間関係」                    | 目が行き届かなくなり、いじめ等の問題が深刻化する<br>・新しい人間関係を築くのに時間がかかる<br>・大きな学校の環境になじみず孤立してしまう                                                                              |
| 「通学」                      | 通学距離が長くなり、大変になる<br>・通学に不便な子が出てくる<br>・負担が大きくなる                                                                                                         |
| 「学校生活」                    | 送迎の心配やバス時間等、通学距離の違いによりクラブ活動などへ支障が出る<br>・大きな学校中心の行事に偏ってしまう                                                                                             |
| 「保護者」                     | PTA活動など人任せになってしまう<br>・保護者同士のつながりが薄まる<br>・保護者と学校の関係（つながり）が弱くなる                                                                                         |
| 「地域との関わり」                 | 自分の地域をしっかりと見守る機会が少なくなる<br>・地域との関わり、つながりが少なくなる<br>・地域守り活動などは減少する<br>・通学班がなくなるなど、地域で子どもたちの姿が見られなくなる<br>・「地域社会の共有財産」という側面が失われる                           |

444表の見方

【ステージ】学校編成の状態によって、ステージを「0」から「IV」に分類したもので、川西市教育委員会が独自に作成した指標です。

【編式学校】単一の学年の在生で編成する学校です。

【複式学校】複数の学年の在生で編成する学校。詳しくは前ページ下の用語解説を参照。

【附設】各学校の児童数が減少することにより、学級編成が単式学級から複式学級、さらに複式学級のステージに進む年度を表しています。児童数が減少することにより、通学や校内清掃にも影響が出てきます。ステージが下に進むほど教育環境の低下が心配されます。

| ステージ | 学校編成     | 編成の内容                            | 年度毎の各学級のステージ進捗予測 |        |        |        |        |        |        |        |        |        | 通学区域への影響 |
|------|----------|----------------------------------|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
|      |          |                                  | 平成25年度           | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 |          |
| I    | 単式学級     | 全学年2学級以上                         | 12以上             | 12以上   | 12以上   | 12以上   | 12以上   | 12以上   | 12以上   | 12以上   | 12以上   | 12以上   | △        |
|      |          | 学年1～2学級                          | 6以上              | 6以上    | 6以上    | 6以上    | 6以上    | 6以上    | 6以上    | 6以上    | 6以上    | 6以上    |          |
| II   | 複式学級     | 複式1学級と単式1学級(2以上の学年の児童を1学級に編制)    | 5                | 5      | 5      | 5      | 5      | 5      | 5      | 5      | 5      | 5      | △        |
|      |          | 複式2学級と単式2学級(2以上の学年の児童を1学級に編制)の出現 | 4                | 4      | 4      | 4      | 4      | 4      | 4      | 4      | 4      | 4      |          |
| III  | 完全複式学級   | 複式3学級(3つの複式学級で編制)                | 3                | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | △        |
|      |          | 複式3学級(1学年がきわめて少人数で複式学級が20人以上)    | 3                | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      | 3      |          |
| IV   | 変則完全複式学級 | 複式2学級(次学年や低学年などの編制による複式学級)       | 2                | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | 2      | △        |
|      |          | 複式1学級(次学年が多数で1学級)                | 1                | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      | 1      |          |

【小規模校のデメリット】異学年の交流が生まれやすい。集団の中で多様な考えに触れる機会が少なく、運動会・集団教育活動に制約が生まれやすい。

【大規模校のメリット】集団の中で多様な考え方に触れ、切磋琢磨することを通じて能力を伸ばしやすい。運動会などの集団教育活動で活気が生まれやすい。

【大規模校のデメリット】教職員による一人ひとりの把握が難しくなりやすい。児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しにくい。

このほか、本町独自の視点における比較検討も、今後必要になってきます。

⑤児童数減少による学級編成の変化と教育環境ステージ  
児童数の減少は、各小学校の学級編成を大きく左右します。さらに、学級編成によって教職員の配置が決まられ、学校経営や通学、校舎の掃除方法といった教育環境にも影響してきます。

このため、町教育委員会では、今後の検討の参考とするため、3ページ上段にある「児童数の減少による学級編成と

①これまでの経過  
平成18年に教育委員会が学級規模の適正化に向けた通学区域の見直しに関する計画書を作成し、その内容は平成25年3月までに小学校8校を2校とするものでした。

【第一小学校(仮称)】  
大塚小・大川小・小松小  
玉庭小・東沢小

【第二小学校(仮称)】  
中郡小・高山小・吉島小

しかし、当時は地域から小学校がなくなることに反対する者が多く実現には至らず、本格的な検討は平成25年度から開始することにしていました。

②協議会の目的・協議の基本方針と検討のシミュレーション  
この内容については、昨年の町報6月15日号、9月15日号に掲載しています。

協議の基本方針は次の4点です。

①段階的に統廃合を進めることも視野に入れる。

②学区再編は児童の教育環境の向上を優先する。

③統廃合の基本方針・統廃合を検討する基準のあり方、検討の開始段階を協議する。

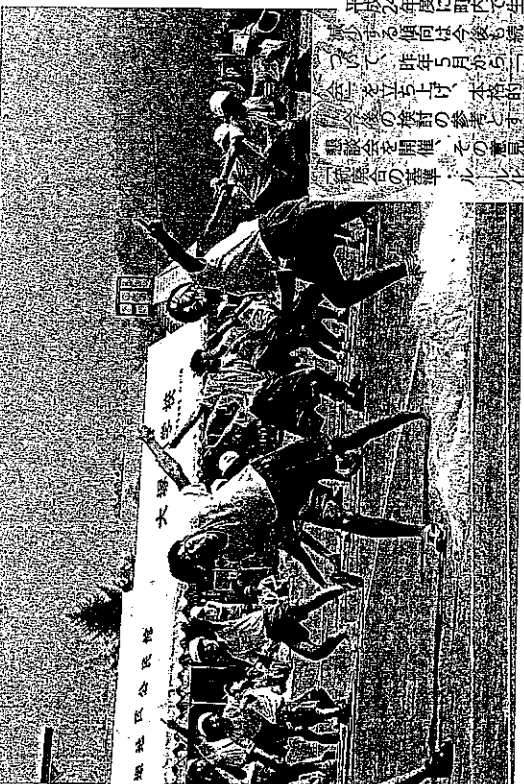
④地域・保護者の合意形成を図ることとし、その方法に

町報かわにし 平成26年2月15日

| 学校    | 平成25年度(計25.5.1) |     |     |     |     |     | 平成27年度(予測) |     |     |     |     |     | 平成29年度(予測) |     |     |    |     |     | 平成31年度(予測) |     |     |     |     |     |    |     |     |     |     |    |
|-------|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|------------|-----|-----|----|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
|       | 1年              | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年  | 計          | 1年  | 2年  | 3年  | 4年  | 5年  | 6年         | 計   | 1年  | 2年 | 3年  | 4年  | 5年         | 6年  | 計   | 1年  | 2年  | 3年  | 4年 | 5年  | 6年  | 計   |     |    |
| 大塚小学校 | 16              | 21  | 9   | 13  | 24  | 15  | 98         | 20  | 23  | 16  | 21  | 9   | 13         | 102 | 17  | 12 | 12  | 16  | 20         | 23  | 16  | 21  | 12  | 17  | 16 | 16  | 20  | 23  | 108 |    |
| 大川小学校 | 10              | 11  | 12  | 11  | 14  | 12  | 70         | 3   | 11  | 10  | 11  | 12  | 11         | 58  | 9   | 7  | 3   | 11  | 10         | 11  | 10  | 11  | 51  | 17  | 11 | 9   | 7   | 13  | 11  | 58 |
| 小松小学校 | 40              | 48  | 42  | 51  | 48  | 58  | 287        | 47  | 34  | 40  | 48  | 42  | 51         | 262 | 48  | 27 | 34  | 40  | 48         | 24  | 48  | 24  | 29  | 39  | 48 | 27  | 47  | 34  | 224 |    |
| 中郡小学校 | 24              | 17  | 12  | 15  | 20  | 15  | 103        | 15  | 22  | 24  | 17  | 12  | 15         | 105 | 21  | 14 | 15  | 22  | 24         | 17  | 113 | 20  | 21  | 14  | 15 | 22  | 103 |     |     |    |
| 高山小学校 | 6               | 6   | 3   | 6   | 7   | 2   | 30         | 3   | 6   | 6   | 6   | 3   | 6          | 30  | 1   | 2  | 3   | 6   | 6          | 6   | 6   | 24  | 5   | 2   | 1  | 2   | 3   | 6   | 19  |    |
| 吉島小学校 | 19              | 19  | 13  | 23  | 28  | 12  | 121        | 22  | 19  | 19  | 19  | 13  | 11         | 111 | 18  | 22 | 22  | 19  | 19         | 19  | 19  | 119 | 21  | 22  | 18 | 22  | 22  | 19  | 124 |    |
| 玉庭小学校 | 3               | 11  | 8   | 4   | 6   | 35  | 4          | 6   | 3   | 11  | 8   | 35  | 6          | 35  | 6   | 5  | 4   | 6   | 3          | 3   | 27  | 1   | 5   | 6   | 5  | 4   | 6   | 27  | 46  |    |
| 東沢小学校 | 3               | 7   | 6   | 2   | 8   | 34  | 2          | 7   | 3   | 7   | 6   | 2   | 27         | 2   | 2   | 1  | 2   | 7   | 3          | 7   | 22  | 3   | 2   | 2   | 2  | 2   | 2   | 17  | 17  |    |
| 合計    | 121             | 132 | 114 | 119 | 148 | 144 | 778        | 116 | 128 | 121 | 132 | 114 | 119        | 730 | 121 | 94 | 116 | 128 | 121        | 132 | 712 | 113 | 108 | 121 | 94 | 116 | 128 | 690 |     |    |

町報かわにし 平成26年2月15日

# 21小学校学区再編について 会場で懇談会を開催しました



## 児童数の減少により予想される 教育環境の低下

懇談会は、保護者対象に幼児施設・小学校ごとに14会場、一般町民対象には地区ごとに7会場で開催しました。

出席者は保護者懇談会で合計211人、一般町民の方は100人でした。

懇談会では、最初に教育委員会事務局が、これまでの経過や児童数の推移、児童数が減少することにより学級経営や学習にどのような変化が予想されるかについて説明した後、出席者から意見・要望等をお聞きしました。

説明内容は次の(1)から(6)までです。

①これまでの経過  
平成18年に教育委員会が学級規模の適正化に向けた通学区域の見直しに関する計画書を作成し、その内容は平成25年3月までに小学校8校を2校とするものでした。

【第一小学校(仮称)】  
大塚小・大川小・小松小  
玉庭小・東沢小

【第二小学校(仮称)】  
中郡小・高山小・吉島小

しかし、当時は地域から小学校がなくなることに反対する者が多く実現には至らず、本格的な検討は平成25年度から開始することにしていました。

②協議会の目的・協議の基本方針と検討のシミュレーション  
この内容については、昨年の町報6月15日号、9月15日号に掲載しています。

協議の基本方針は次の4点です。

①段階的に統廃合を進めることも視野に入れる。

②学区再編は児童の教育環境の向上を優先する。

③統廃合の基本方針・統廃合を検討する基準のあり方、検討の開始段階を協議する。

④地域・保護者の合意形成を図ることとし、その方法に

●用語の解説  
2つ以上の学年をひとまとめにした学級(クラス)。1学年を含む複式学級は、1学年と2学年の合計が8人以下である場合に編成されます。1学年を除く2つの学年の複式学級は、合計が16人以下の場合に編成されます。

●通学区域(学区)  
本町の各小学校の学区は、川西市立学校教育条例施行規則に基づき、学校ごとに大字単位に定められています。保護者が住所を変更したとき、又は区域外から転入したときは、住民登録の手続きの上、学区の指定を受けることになっています。教育委員会は必要と認めるときは、通学区域外の学校を指定することもできます。

等望・意見・地区懇談会・学校学区に關する保護者懇談会

[illegible]

教育環境ステージの变化」という資料を作成し、学級編成の形態により、学校を次の5つのステージに分類しました。

ステージⅠ：単式学級  
ステージⅡ：複式学級  
ステージⅢ：完全複式学級  
ステージⅣ：児童数1人

これによると、平成25年度は、今年度とクラスあや学校は小松小のみ。単式学級で各学年1クラスは、大塚、大川、中沢、吉島小の4校。複式学級で複式2クラスと単式2クラスの学校は、高山、玉庭、東沢小の3校です。

平成26年度から31年度まで、単式学級6クラスが維持でき、る学校は、小松、大塚、中沢、吉島小の4校。大川小は平成28年度から複式学級が1クラスとなります。

現在複式学級が2クラスある玉庭、東沢、高山小の3校は、児童数の減少に伴い、ステージⅠからステージⅡのそれぞれの段階に入り、教育環境の低下が予測されます。

県内で統廃合に踏み切った  
小学校の事例を見ると、ステ  
ージⅠからⅡの段階で統廃合  
となった学校が多いものの、

各市町村の状況により、さまざまです。

⑥第2回「あすの小学校を  
考える協議会」の検討結果  
昨年8月の第2回協議会で  
は、学校規模によるメリット・  
デメリットの検討、統合の  
合意形成のあり方について協  
議しました。その内容につい  
ては、小規模・大規模校それ  
ぞれにメリットがあり、合意  
形成についてもさまざまな現  
状があるため、今後さらに模  
試進行することになっています。



▲保護者会懇談会は、各小学校・幼児施設ごとに昨年9月から11月までに、たくさんの貴重な意見や要望をいただきました。

「やむを得ない」から  
「慎重に」まで  
多くの意見

教育委員会としての基本的な考え方は、今後も児童数が減少していく状況で児童の教育環境の向上を図るためには、将来における小中学校の学区再編と統廃合はやむを得ないものであり、いずれかの時点で判断が必要になる、ということものであることをみなさんに説明してまいりました。

1952年 5% - 10% の表

のとおり、保護者、地域の方々から多くの意見が出されました。保護者の方々からは「試合はやむを得ない」という考えが多く出されましたが、地区の方々からは慎重に進めるべきという意見もありました。すべての発着内容を掲載することはできないため、左ページに意見等の概要をお知らせいたします。

出席された方からの意見、要望等は、今後の協議会や教育委員会での検討に際し、十分参考にさせていただきます。

第3回協議会を開催  
「統廃合検討の時期と  
基準、ルールは」

1月25日、第3回あすの川西町の小学校を考える協議会を開催しました。保護者、地区懇談会の意見等を教育委員会事務局が報告しその後「学区再編の方向性」と「学区再編の基準・ルール化」について協議しました。

学区再編の方向性としては、次の4点について協議しました。

①教育効果の充実を図るため、小学校の適正規模について検討する。

②児童の教育環境の向上を優先する。(社会性・協調性を

育成するための適切な学校  
規模)

③児童の教育環境を維持する  
うえて、当面、1学年1学級（複式学級の解消）の編成を適切な学校現場とする。

④当分の間、平成18年計画にある2校案を視野に入れつつ、今後、概ね10年以内に統廃合の個々の検討を進め、再編後の小学校数を検討する。

次に、学区再編の検討を行う基準とルールのある方について検討しました。これは、統廃合を検討する基準・検討の開始段階をいつにするか、というものです。

これについては「これから  
複式学級が発生すると見込ま  
れる1・2年前から」、「完全  
複式学級が発生する1・2年  
前から」、さらに「地域が保護  
者等の合意を得て、検討要請  
を受けた次年度から」といつ  
な例が考えられます。

今後、懇談会の意見等及び協議会での検討内容について、パブリックコメント（意見公募）を行う予定です。

問に合わせ・11頁目等は  
町教育委員会 42-6659

# 4 小学校学区再編を考える

## 第4回 「あすの川西町の小学校を考える協議会」の 検討内容を報告します

### ●募集意見の内容

| No. | 概要                | 内 容                                                                                                                                                         |
|-----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 学区再編の考え方について      | ・なるべく小さいうちからたくさんの人と接してもらいたい。<br>・学校統合問題に関しては地域ではなく子供達の事を優先に考えて行ってほしい。<br>・低学年時の一人での下校が心配。統合もいきなり1校ではなく段階をふんで統合していったらいいのではないか。                               |
| 2   | 検討開始時期の基準について     | ・地域・保護者が納得のいくように時間をかけて進めてほしい。<br>・全校児童が20人を切るような状況が学校運営上、また、子供たちのとってもどうなのか、再編ありきではなくとも話し合う時期ではないでしょうか。                                                      |
| 3   | 学区再編の考え方と再編時期について | ・児童数が少なくなると、様々な学校運営が厳しくなると思う。少なすぎる人数での教育環境はデメリットのほうが大きいのではないか。<br>・小規模校の良さも承知しているので、一概には言えないが、集団の中での活動や協調性など、いずれは大きな環境へ進む過程を考えれば、平成29年度が再編の一定の目途ではないかと考えます。 |

4月15日号の町報とホームページで、「小学校の学区再編整備に関する検討(案)」に対する意見募集(パブリック・コメント「4月15日～5月9日」)を行った結果、上記の3件の意見が寄せられました。第4回「あすの川西町の小学校を考える協議会」の検討内容を報告します

5月27日に、第4回目となる「あすの川西町の小学校を考える協議会」を開催し、3件の募集意見を参考とし、小学校学区再編を検討する基準・検討の開始段階をいつにするか、そのルールのあり方について協議しました。

①複式学級が発生すると見込まれる1～2年前から検討する。

②完全複式学級となる当該年度あるいは完全複式学級の学級編成が見込まれる1～2年前から検討する。

③地域や保護者(P・T・A)等の合意を得て、検討要請を受けた次年度から検討する。

会議では、①町がステージを示したうえで、地域からの意見を吸い上げる検討が必要。

②児童数20人以下では学校運営が難しいのでは。完全複式になる前に検討をはじめめるほうが良い。③それぞれの学校の特性を生かして検討すべき。④学校、地区、地域の問題がある。検討の時間をどのくらいとるのか。各地区違っていても良いがスピーディーにすること。などの意見がだされました。

今後、今回の意見を集約し次回の協議会で統廃合の方針、ルールと基準、合意形成のあり方について検討し、今年度も協議会での検討の参考とするため、保護者や各地域の住民の方々の懇談会を9月から10月にかけて開催します。

各地区懇談会の日程については、後日、町報でお知らせいたします。

## 第5回

### あすの川西町の小学校を考える協議会」の 検討内容を報告します

7月26日に、5回目となる「あすの川西町の小学校を考える協議会」を開催し、これまで協議会の中で検討、協議してきた学区再編（統廃合）の方針と検討を開始する基準とルールについて、協議会として確認しました。また、学区再編の検討を開始してからの保護者や地域の方の合意形成のあり方について協議しました。

#### 小学校学区再編 （統廃合）の方針

- (1) 児童数の推移に基づき教育効果の充実を図るため、小学校の適正配置（再編整備）について検討する。
- (2) 子どもたちの教育環境の向上を優先とする。

※教育環境の向上：適切な学校規模（社会性・協調性の育成）

- (3) 児童の教育環境を維持するうえで、当面、1学年1学級以上（複式学級の解消）の編成を適切な学校規模とする。

- (4) 平成18年計画にある2校案を視野に入れつつ、学区再編の個々の検討を進め、今後、概ね10年以内に学区再編を進める。

#### 小学校学区再編検討の 基準とルール

学区再編を検討する基準・検討の開始段階は以下のとおりとする。

- (1) 複式学級が発生すると見込まれる1～2年前から検討する。
- (2) 完全複式学級となる当該年度あるいは完全複式学級の学級編成が見込まれる1～2年前から検討する。
- (3) 地域や保護者（PTA）等の合意を得て、検討要請を受けた次年度から検討する。
- (4) 教育委員会は教育環境の大きな変化に対応するため必要に応じて検討を提案できるものとする。

#### 合意形成のあり方

会議では合意形成を得るため、はじめに検討する場（構成メンバー：地区民代表・保護者代表・各種団体の代表・教育委員会など）を設置して進めていくこととし、合意形成の手法として保護者や地区住民へのアプローチ、情報の周知内容等について検討しました。



#### ●合意形成の手法（事務局例）

|             |                                                  |
|-------------|--------------------------------------------------|
| 保護者へのアプローチ  | ①保護者会総会（幼児施設）<br>②PTA総会（小学校）<br>③アンケート調査（保護者・児童） |
| 地区住民へのアプローチ | ①地域づくり協議会等の総会<br>②地区懇談会・各自治会懇談会<br>③地区住民アンケート調査  |
| 情報の周知       | ①児童数の推移等の情報提供（教育委員会）<br>②学校経営の現状と課題等（各学校）        |

事務局より手法（例）を示したうえで、委員からは次のような意見が出されました

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者へのアプローチ  | ①保護者会総会等で議論するにあたっては、事前に情報を十分に周知し、共有しておくことが必要である。<br>②アンケート調査については、アンケートの項目の立て方、内容など先進事例などを参考に検討が必要である。<br>③成功例として、中学校、幼児施設で統合を経験した保護者からの意見を例示すること。<br>④体験者の経験事例を盛り込んでいくこと。全国的レベルでも成功例、基調となる例を示してもらってはどうか。<br>⑤説明会を開き、丁寧に説明してもらった後にアンケートをとり、保護者の考えを集約するやり方がよいと思う。<br>⑥アンケートを実施し、その結果の説明会を実施し、その後、再度アンケートをとることによって、考えがどのように変わったかわかるので、2段階のアンケートを取るやり方もある。<br>⑦子供たちへのアンケートは検討する必要がある。 |
| 地区住民へのアプローチ | ①学区ごとの説明会にしたほうが、同じ学校に子供が通っているという同じ立場で考えられるので有効ではないか。<br>②愛護会（子供会）や隣組などの小さな単位での説明会の方が集まりやすいのではないか。                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 情報の周知       | ①情報提示の際、児童数の推移のほか、地域の人口の推移（町の人口の推移）も提示してほしい。<br>②統合後の地域のビジョン（跡地活用）をどう描いてゆくか。メリット面の提示が必要。<br>③教育委員会は、持っている情報を、提供すべきタイミングを逸することなく、こまめに総合的に開示してゆくこと。<br>④教育委員会から提供される情報の中に、他市町の状況や国（文科省）の考えも盛り込んでほしい。                                                                                                                                                                                 |

今後、今回の意見を集約し学区再編（統廃合）の方針、ルールと基準、合意形成のあり方について、保護者や各地域の住民の方々の懇談会を9月から10月にかけて開催します。

各地区懇談会の日程については、後日、町報でお知らせいたします。

◎町教育総務課教育総務グループ  
☎4216659

第6回「あすの川西町の小学校を考える協議会」の検討内容を報告します

# 今年度も保護者・地区懇談会を開催

11月26日に、第6回目となる「あすの川西町の小学校を考える協議会」を開催し、保護者・地区別の懇談会でいただいた意見等を参考に、昨年5月に諮問された「川西町の小学校区の見直し」についての答申内容の検討、協議を行いました。

## 21会場で懇談会を開催しました

懇談会は、今年度も保護者対象に幼児施設・小学校ごとに14会場で、一般町民対象には地区ごとに7会場で実施しました。

懇談会では、教育委員会事務局が、学区再編の方針、検討を開始する基準とルール、合意形成のあり方について説明した後、出席者から意見・要望等をお聞きしました。その主な内容は3ページの表のとおりです。説明内容は次の(1)から(3)までです。

### (1)学区再編の方針

- ①教育効果の充実に図るため、小学校の適正配置について検討する。
- ②子どもたちの教育環境の向上を優先とする。(社会性・協調性を育成するための適切な学校規模)
- ③児童の教育環境を維持するうえで、当面、1学年1学級以上(複

式学級の解消)の編成を適切な学校規模とする。

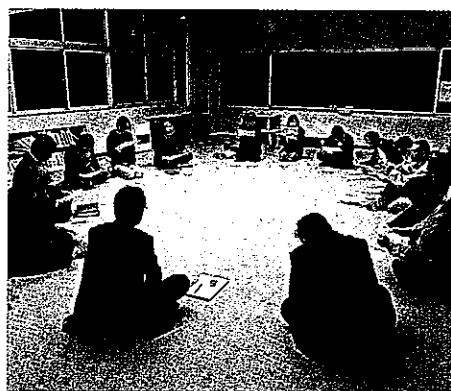
- ④平成18年計画にある2校案を視野に入れつつ、学区再編の個々の検討を進め、今後、概ね10年以内に学区再編を進める。

### (2)小学校学区再編検討の基準とルール

学区再編を検討する基準・検討の開始段階をいつにするか。

- ①これから複式学級が発生すると見込まれる1～2年前から
- ②完全複式学級となる当該年度、あるいは完全複式学級の学級編成が見込まれる1～2年前から
- ③地域や保護者等の合意を得て、検討要請を受けた次年度から
- ④教育委員会が必要に応じて検討を提案できる

|          |                                                |
|----------|------------------------------------------------|
| 保護者に対して  | ・保護者会総会<br>・PTA総会<br>・アンケート調査                  |
| 地区住民に対して | ・地域づくり協議会等の総会<br>・地区懇談会、各自治会懇談会<br>・地区民アンケート調査 |
| 教育委員会として | ・児童数の推移等の情報提供<br>・学校経営の現状と課題等                  |



▲懇談会の様子

### (3)検討と合意形成のあり方

- ①検討の場の設置
- ②合意形成の手法(例) ▲

### 登下校の安全等に課題

教育委員会の基本的な考え方は、今後も児童数が減少していく中で、小規模校では来年度から入学者が1人とか2人になる学校もあり、さらに、4、5年後には全校児童が20名以下となる年度も出現してきます。そのような状況のなかで、学力・体力向上と新たな学習指導内容への対応や小規模校の教職員の負担増解消、登下校の安全確保等が学校経営上の課題と考え、いずれかの時点で判断が必要になり、その検討を開始する基準とルールについて皆さんに説明してまいりました。

これに対し、3ページの表のとおり、保護者・地域の方々から多くの意見が出されました。保護者の方からは、「同級生がいらない、同級生が一人というのは可哀そう」、「登下校が不安」などという考えが多く出されましたが、地区の方々からは、地区のことも考えて進めるべきという意見がありました。

(本文は4ページに続きます)

▼平成26年度小学校学区再編に関する保護者懇談会・地区懇談会の主な意見・要望等

| 項目        | 地区懇談会の意見・要望等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 懇談会場                 | 項目        | 保護者懇談会の意見・要望等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 懇談会場                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 統合推進      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                      | 統合推進      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級になることが予測されるのであれば早く進められないか。</li> <li>・計画を作って統合を進めてほしい。</li> <li>・2人とかの学級よりは、多い人数の学級のほうが社会性なども育つのではないかと。中学校で一つになるので、学習面、活動面など同歩調で育てていくほうが良い。学校生活の中でいろいろな個性のある先生と触れ合える環境で育ててほしい。</li> <li>・1学年に児童が1人の状態が出てくるのは、親として胸がつぶれる思い。一刻も早く検討に入ってほしい。</li> <li>・小規模の小学校から大規模な中学校へ進学するとまどいを考えると、地域の意見が反対だとしても保護者としては統合の話は進めてほしい。</li> <li>・英語が教科化される前までは統合を考えてほしい。</li> </ul> | 玉庭保小<br>小松小<br>大川小<br>東沢小        |
| やむを統なし    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年から完全複式学級になれば統合は免れない話である。</li> <li>・少子化になって、川西町の存続も危ぶまれているとなれば統合は必然だと思う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 東沢                   | やむを統なし    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが減って通学班が組めなく不安。複式学級にも不安がある。落ち着いた環境を作ってほしい。</li> <li>・人数のともとも少ない学校は統合せざるを得ないということは分かっている。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                              | 玉庭保<br>玉庭小                       |
| 再編具体例     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が減ることを見越して初めから1校にすることはできないか。</li> <li>・山形県では少人数学級編成をやっているが、国では1年生の35人学級を40人学級に戻すという話もある。そうなれば、学級数をもっと減っていくことが予想されるので、1校にまとめた町内の児童に同じ教育を平等に与えたほうが良い。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 小松<br>中郡             | 再編具体例     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成33年で1学年3～4クラスになるので、初めから1校という案はないのか。1校も視野に入れるべき。</li> <li>・北斗幼稚園のつながりで大塚小と大川小との統合から始まり、段階的に統合していくという考えはないのか。</li> <li>・段階的に統合していくより、二度手間を省くため2校でも良いのではないかと。</li> <li>・学年に児童1人というのは可哀そう。いずれ統合すると思うが、一気に進めるよりは段階的にいき、地域の意見も聞いてほしい。</li> <li>・美郷幼稚園のつながりで吉島小と中郡小との統合が望ましいのではないかと。</li> <li>・2校案を大事にしてほしい。少子化により統廃合は避けられない。学校の引っ張り合いが無いようにしてほしい。</li> </ul>            | げんき保<br>大塚小<br>中郡小<br>高山小<br>吉島小 |
| 慎重意見      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合後の地域と子どもたちとの関わりも考えて、慎重に進めてほしい。</li> <li>・統合後のいじめや不登校などの問題が心配だ。</li> <li>・子どもが学級に一人、二人では悪いというのは大人が感じることであって、子どもは感じていないかもしれない。</li> <li>・地域に教育の場があるのがよいと思う。児童が大勢であればいいというのは疑問がある。デメリットも考えられる。ただ、避けられないようであれば合理的にしたほうがよい。</li> <li>・統合するに当たり、地域が活性化するところが見えてくれば保護者や地域の人も納得するのではないかと。人口減少対策、地域振興対策などを充実していくようにしなければならない。(複数)</li> <li>・統合になると勤めの近くや学校の近くに住もうという考えが出るのではないかと不安。</li> <li>・地域から学校がなくなるのは悲しい。</li> <li>・第4次総合計画では人口増をうたっている一方で、子どもが減るからと学校統合の話を進めるのはおかしい。</li> </ul> | 中郡<br>玉庭<br>吉島       | 慎重意見      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の中に学校がなくなることに対して反対している人がいる。地域から学校がなくなると寂しくなる、さびれる、地域がなくなると考えているので統合が進まないのではないかと。</li> <li>・急激な減少とは考えられない。ただ、大勢で学ぶメリットがあるのも分かる。</li> <li>・早いうちの統合は賛成だが、地域の拠点としての学校がなくなること課題がうまれないか。</li> </ul>                                                                                                                                                                     | 玉庭保<br>美郷幼<br>玉庭小                |
| 複式学級      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級になった場合に学力の低下はどうなるのか。子どもが少なくなるというのは社会教育の面で影響は出るのか。学校の本分は教育で、今後学力への影響がどうなっていくかと思う。</li> <li>・複式学級では、子どもたちが背中合わせになったり、L字型になって授業を行っていた。先生が各学年時間配分をしながら教えていた。大変なことだと思う。</li> <li>・6年間複式学級ということがあったら、それはどうかと思う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                        | 吉島<br>東沢             | 学級複式      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級はいけないのか。学業的には問題ないのではないかと。</li> <li>・複式学級で学力が低下したという事例はあるか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 玉庭保                              |
| 地域との関わり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て中の若い保護者は、いい環境であればどこでも良いとの考えで、地区との交流が少ないのではないかと。若い人たちには教育の他に地区のことも考えてもらいたい。</li> <li>・学区再編だけではなく地区のことも含めて考えていかなければならないと思う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 大塚<br>中郡<br>玉庭<br>東沢 | 地域との関わり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が少なくなってきた。人口を増やすという想定などはしていないのか。</li> <li>・これから町や国が人口増にどう取り組むのか。</li> <li>・通学路の安全対策はどうか。統合が決定してから対策となるのか。防雪柵の設置についても進めてほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                            | 北斗幼<br>中郡小<br>高山小<br>東沢小         |
| (仮称)検討委員会 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・複式学級が見込まれる校区単位の検討委員会を立ち上げる一方で、他の学校はどうか。川西の学校全体で検討委員会を立ち上げて協議を行っていくわけではないのか。</li> <li>・バラバラな検討でなく、指針を出していかなければならないのではないかと。</li> <li>・委員会はかなり重い責務になると思う。このままでいいとは思っていないはずで、行政として指導力を発揮し指針を出していかなければ、合意形成などならないのではないかと。</li> <li>・検討委員会を立ち上げ、統合までの時間はどの程度かかるのか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                         | 東沢<br>吉島             | 検討委員会(仮称) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最短で準備期間を含めて何年くらいで統合となるのか。(複数)</li> <li>・統廃合の主体となるのはどこか。</li> <li>・町にもかかわってほしい。また、地区内に1つの小学校なので地域の人にも入ってもらい検討をしてもらうべき。</li> <li>・どの時点で、統合すると決定されることになるのか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                 | 大塚小<br>大川小<br>中郡小<br>高山小<br>東沢小  |
| 要望        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会の案としてイメージを出してもらえれば議論はできると思う。中長期的なものを出してほしい。</li> <li>・住まいや勤務地が近くにあるという要件とともに、小学校が近くにあるということも考えてもらいたい。</li> <li>・独身男女の婚活についても身近な問題だ。結婚して子供を増やしてほしい。働く場は農業以外の他産業に従事せざるを得ない。働く場を川西に誘致してほしい。</li> <li>・産業の場を設けてほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                 | 大塚<br>中郡<br>玉庭<br>吉島 | 要望        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これから結婚する人、子どもはいなくても将来保護者になる人にもこのような懇談の機会を持ててほしい。</li> <li>・長期的な資料等がないと将来予測ができないのではないかと。また、他の事例(成功事例)など示してもらえれば判断材料になる。</li> <li>・空校舎を利用し、不登校生などのケアを考えてはどうか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                              | 中郡小<br>玉庭小<br>東沢小                |
| 質問等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編整備に向けた施設の容量について(複数)</li> <li>・不登校について</li> <li>・平成18年2月に示された計画について</li> <li>・跡地利用について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 複数<br>会場             | 質問等       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編整備に向けた施設の容量について(複数)</li> <li>・アンケート調査について</li> <li>・スクールバスについて(複数)</li> <li>・統合を受ける側の検討について(複数)</li> <li>・学校支援地域本部との関係について</li> <li>・他会場での懇談内容について(複数)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                 | 複数校                              |

## 再編は教育環境の向上を優先に

第6回協議会では、保護者・地区懇談会の意見等を教育委員会事務局が報告し、その後、協議会として答申内容の案について協議しました。

学区再編の基本的な考え方としては、次の4点について協議しました。

(1) 今後の児童数の予測及び学級編成の変化を考えた場合、教育環境に様々な影響を及ぼすものと憂慮される。学級数が減少すれば、教職員一人ひとりの負担が増え、学習指導研究への支障が懸念される。

教育効果の充実を図ることを第一に、子どもたちの成長にとって望ましい教育環境の整備を図るには、現在が学区再編を検討する時期であると考えます。

(2) 子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランス良く育成することに加え、社会性の育成に配慮し「生きる力」をより一層育み、自立して社会で生きていく基礎を培う環境が求められる。

(3) 町内の小学校間での学力に大きな差は認められないものの、小規模校における小学校教育の目標達成には多くの課題が生じていると言わざるを得ない。教育の機会均等と教育水準の維持向上、社会性や豊かな人間性を育成する教育環境を維持するうえで、複式学級の解消を図る学級編成を本町での適切な学校規模と考える。

(4) 児童数の推移予測や学校経営上の課題、地域づくりへの課題など、個々の課題解決にむけた検討を進め、保護者や地域住民の方の理解を得、再編整備の合意が整った小

学校区から、段階的な学区再編を進めていくべきである。なお、将来における小学校の適正配置については、平成18年計画の案も想定される。

次に学区再編の検討を開始する基準とルールについて協議した結果、これまで協議会で検討してきたとおり、学区再編の検討を開始する際に、一定の基準とルールを定めておくことが望ましいとなりました。

協議会は、答申書の取りまとめを行い、教育委員長へ12月中に答申する予定です。